

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2011年8月1日

95号

世界に笑顔を!!!

パラグアイ、チャコ地方の子供達に笑顔と良い教育環境を整備するため、南北米福地開発協会のボランティア隊が8月24日成田を出発します。  
会員の皆様はじめ多くの方々の支援をありがとうございました

昨日(七月十四日)オリンポにて、農園の準備について視察しました。オリンポにて、農園の準備について視察しましたが、農業技師とフェリッペが責任を持って進めてくれています。オリンポなども水が上がっているために堤防の補強などに人も機械も動員され、中々農園の方に手が回らなかつたというのが現状のようです。これから急ピッチで進めていくそうです。柱はもう確保されているので後はトラクターで耕す事と、柱を立てて金網で周囲を囲む事です。そして、つい最近メノナイトの人たちが来てやはり農園を手伝いたいとの申し出があったようです。彼らは灌漑設備を造ってくれるそうです。立派な農園になりそうです。

また、オリンポにあるインディオの村のカシケ(酋長)と秘書の人とミーティングを持ちました。(現在冬休みのため、校長不在) 彼らの道にニーム並木を作りたいとの要請がありました。六百メートルの長さ、百二十本のニームの木を植えることになりました。午前中は生徒とその作業をし、午後から文化交流をすることになりました。カシケも大変乗り気です。

オリンポのスケジュールは二十八日(日)、二十九日(月)、三十日(火)の三日ですが、日曜日はオリンポ市庁舎は休みなので、その日にインディオの村に最初に訪問する事になります。後二日は農園造りということになります。宿泊は、オリンポの修練所、二つの部屋とスタッフルームを確保、台所に多少の食器などの準備が必要です。フェリッペがリストを奥さんと一緒に作ってくれます。

青年奉仕隊現地責任者

左野より





平尾 国寛 (二十一歳)

参加の動機は、一つは、両親の影響です。小学校一年生の時に母

がチリにボランティアに行き、父は現在ブラジルに病

院を建てる為に、日本で準備をしています。

両親がともに、平和世界実現の為に、南米に投入しているのに刺激されました。私も生態系

が保護されて来たパンタナールなどの沢山の自然がある南米、両親が投入してきた南米の地で、何かしたいと思ったからです。

もう一つは、世界は一つの家族であると考えている事にあります。日本から最も離れた所に住んでいる人々に、会いたい、尽くしたい、何か為に生きたいと思ったからです。

この気持ちは以前、国際協力青年ボランティア隊に参加した先輩の報告を読み高まっています。

将来の夢は、会計・経済的方面において、仕事に就き、神の下の一々の家族の実現に向け、貢献することです。南米の青年、学生達と友情の絆を結び、神様の夢の実現へ向けた原動力としたいです。



福森誉美 (二十一歳)

私が今回の国際協力青年ボランティアに参加しようと思ったのは、まず「原体験」

を、したいと思ったからです。実際に、青年ボランティアで南米に行った先輩の方から体験談を聞いたり、南北米福地開発協会の方が来られてその方の話を何度か聞く中で、地球の裏側の遠い地で歩んでいるシニアボランティアの方々の姿や功績に感動しました。

でも、見たたり聞いたりするだけでは本当の意味でその方たちの歩みも分からないし、自分自身も直接体験して、南米での内容を知りたいと思いい参加を決意しました。まだ私は、将来どのようなことをして社会に貢献したいら良いかまだはつきりわかりません。しかし、だからこそ今与えられている環境を感謝して歩んでいったり、今まで自分がやったことの無いことをやってみたりして自分に願われていることを見つけていきたいと思います。

青年という時に、多くの経験をjして社会に貢献するための糧としていくためにも、今回の青年ボランティアの参加を決意しました。



学校建設に従事する青年奉仕隊隊員

第一回青年奉仕隊スケジュール (二〇一一年八月二十四日ー九月九日)

八月二三日 南北米事務局に オリエンテーション

二四日(水) 日本出発

二五日(木) アスンシオン着 (アスンシオンホテル泊)

二六日(金) ロマプラタへ出発、ロマプラタ開拓地見学、ロマプラタ泊

二七日(土) オリンプへ出発、オリンプ泊

二八日(日) オリンプでの活動

二九日(月) オリンプでの活動

三〇日(火) オリンプでの活動

三一日(水) レダへ船で出発

九月二日(木) レダ開拓の歴史を学ぶ

二日(金) エスペランサ訪問

過去の青年奉仕隊が学校建設、植樹活動をした村の見学と生徒との交流

三日(土) アスンシオンへ出発、

四日(日) プレジデンツフランコ市泊

五日(月) 世界遺産、イグアス滝観光

五日(月) プレジデンツフランコ市植樹

キャンペーンを市長、教育委員会と合同で行い、学校にて学生と共に植樹活動、

その後、アスンシオンへ

六日(火) 新聞社訪問、

アスンシオン市内訪問、青年との交流

七日(水) 日本へ出発

九日(金) 日本成田到着

## 中田先生、レダ活動報告会



### 中田先生の講話(六月十九日)の概要

「今年レダにおける水の上昇が続く、今まで十二年間で最も、水が上がって来ており、その対応に追われて来ました。しかし、パンタナールは湿地帯であり、それが当然の姿であるのでこの経験を通して、多くの事を学ぶことが出来たことを通し、私はかえって希望を感じています。日本では東日本大震災が起こり、今、毎日、復興をどうするか討論し、対策を検討している状況をテレビで伝えていきます。それを見ながらレダにおいても今後、ただ単に洪水で受けているダメージの復帰ではなく、復興計画を考えています。」

パラグアイでも、またレダでも日本の惨状を知って、日本から千人ほど移住してくるらしいとのうわさも立つほどでした。秘境のインディオさえ心配してくれる日本は今まで世界に尽くした国であり、素晴らしい国であることが良く分かりました。地震に対する日本人の対応の仕方も世界の人を驚かせ、日本人の資質の高さを感じました。

また、今回、日本に来て、日本人が締まってきたと感じさせられました。前までは日本人は何かダラットしているなあと感じましたが危機の中で顔も締まってきたのではと思います。

レダにて魚の養殖を行い、初めは何故、八個もの池を造るのかと冷たい目で見られることもありましたが、パクーを養殖し始め、その成長の良さを、また生命力の強さを知り、今後に大きな希望を持っています。先日、熱帯魚を売っている荒垣さんと言う方が事務所を訪れ、話を聞きながらパラグアイ川には多くの人々が関心を持っている魚がまた、昆虫が多くいることが分かりました。自然の宝庫であり、未来があると確信しました。

今まで、レダでは一人の人が色々な責任を持ってきたのでストレスが多かったが今は各人が各人の専門分野を持って活動を展開し始めています。牛は佐野さんが責任を持って安定し、また魚の養殖は丁度タイミング良く青木さんがレダに参加し、本人が七〇歳になって来たにもかかわらず、魚を釣ることが趣味で楽しみながらレダの養殖を進めているので突破できると感じています。これからは責任感、使命感だけでプロジェクトを行うというスタイルでなく、自分が情熱を感じずる分野に投入し、未来を築いて行く段階に入ったと思いますので、今後、多くの方がこれをしたいと目的を持って来て下さるようお願いいたします。」

集会にはアメリカの南北米福地協会事務局長、松田先生、そして、レダから日本に一時帰国中の佐野先生も参加し、集まった会員に挨拶をして下さいました。

# 再度のお願い！！

第11回国際協力青年ボランティア隊へのこれまでの御協力ありがとうございました。今年は飛行機の燃料チャージが高騰したこともあり、未だ、必要な経費が集まっておりません。そのため、支援の期日を8月5日まで延長し、再度のお願いをせざるを得なくなりました。ご理解下さり、よろしくお願ひします。支援金口座は下記の郵便口座です。予算が650万に増加し、現在、550万は確実に集まることになっています。(責任者 柴沼より)

## 第15回ピースライフセミナーご案内

川崎市民プラザにて (9月23日(金)、24日(土))

暑さ厳しき折柄皆様、いかがお過ごしでしょうか。秋の気配が漂う頃、上記セミナーを開催いたしますのでご案内いたします。

国や世界に向かうべき私達自身あるいは私達の家庭がどのような方向性、理念を持ってさまざまな問題に取り組む、対処していくかは誰にとっても重要な課題であると思います。このような時私達は「価値ある生き方」「真実な生き方」を深く知って行動できるようにしたいものです。

第15回ピースライフセミナーで「自分の人生」と「世界の問題」を見つめなおしてみませんか。新しい本来の自分を発見し、希望ある未来を実現したいと願われる皆様のピースライフセミナーへの積極的なご参加を心からお待ちしております。

(詳しく知りたい方は事務局に連絡して下さい)



## 地球家族として

### 自然を守りましょう

南北米福地開発協会

会員の募集中

南米、パラグアイ、パンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信を送ります。

また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会 事務局

〒二二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一番十五

岩崎ビル四F

電話 〇四四一八二九一二八二二

Fax 八二九一二八二二〇

会費納入 郵便口座

一〇一八 〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp